

## 会 議 録

会議の名称	令和2年度第1回行田市行政改革推進委員会
開催日時	令和2年7月14日（火） 開会：午前10時00分　閉会：午前11時25分
開催場所	行田市役所　203会議室
出席者氏名	大久保毅委員、大野久美子委員、金子彰委員、高橋榮美委員、 羽賀烈委員、政田光生委員、宮田淑尚委員、梁瀬里司委員
欠席者氏名	小池利昌委員
事務局	企画政策課：島田課長、嶋田主査、平林主任
会議内容	司会　嶋田主査 議事 (1) 行田市行財政改革プログラム令和元年度取組実績 (2) その他
会議資料	○次第 ○資料1　行田市行政改革推進委員会委員名簿 ○資料2　行田市行政改革推進委員会設置条例 ○資料3　行田市行財政改革プログラム（概要版） ○資料4　行田市行財政改革プログラム令和元年度取組実績 ○資料5　行財政改革の推進に求めること

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>司 会</p> <p>高橋委員 事務局</p> <p>司 会 大久保委員</p> <p>司 会</p> <p>大久保会長</p> <p>司 会</p> <p>議 長</p>	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 あいさつ</b></p> <p><b>3 議事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに委員に就任した金子委員、小池委員、梁瀬委員を迎えての開催である。</li> <li>・小池委員から所用により本日欠席との連絡をいただいている。</li> <li>・議事に入る前に、会長職が空席のため「行田市行政改革推進委員会設置条例」第4条第1項の規定により会長を選出したいと思う。何か意見はあるか。</li> <li>・事務局としての考えはあるか。</li> <li>・事務局としては、これまでの委員会で職務代理者の経験がある大久保委員にお願いしたい。</li> </ul> <p>（全会一致で了承）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大久保委員いかがか。</li> <li>・了承する。</li> <li>・それでは大久保委員にお願いする。</li> <li>・条例第4条第3項の規定で、会長には職務代理者の指名をお願いしているが、今回の委員の任期が今月末までであり、任期中の会議開催予定がないため指名については割愛する。</li> <li>・大久保会長にご挨拶をお願いしたい。</li> </ul> <p>（大久保会長あいさつ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議事に入る前に、会議の公開について確認させていただく。個人情報を取り扱う予定がないことから、本日の会議は公開とする。また、会議録については要点筆記とし、委員名を明記のうえ、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて後日公開する。</li> <li>・ここからは、条例第5条の規定に基づき、大久保会長に議事の進行をお願いする。</li> <li>・暫時、議長を務めさせていただく。議事の円滑な進行に皆さんのご協力をお願いする。</li> <li>・議事の(1)「行田市行財政改革プログラム令和元年度取組実績」につ</li> </ul>

事務局	<p>いて、事務局の説明を求める。</p> <p>(資料4「行田市行財政改革プログラム(令和元年度取組実績)」により説明)</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいま事務局から説明があったが、内容についての意見や質問があれば発言いただきたい。</li> </ul>
政田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政効果を上げるためには経費がかかると思うが、そこがプログラムでは見えない。</li> <li>・29頁の「市債残高の抑制」について、工藤市政の当初の残高はいくらだったか。また、平成29年度に何かの基金を取り崩したと思うが金額を教えてください。その年の効果額はそこを踏まえたのか。</li> <li>・49頁の「市税等の徴収強化」について、弁護士費用などの経費をかけて税収アップにつながっていると思うので、経費を教えてください。</li> <li>・57頁の「職員定員管理の適正化」について、臨時職員は現在何人いて、どこの部署が多いか。人材派遣会社は使用しているのか。以上について知りたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市債についてだが、工藤市政が始まる直前の平成18年度末の残高は約506億円であり、令和元年度末の残高は約408億円であることから、13年間で約98億円を削減したことになる。引き続き削減に努める。</li> <li>・毎年度当初予算の時点で、財政調整基金からの取り崩しを見込んでいるが、実際には収支の状況を見ながら取り崩すかを考えており、平成29年度は取り崩さなかった。なお、財政調整基金については、平成30年度には2億円、令和元年度には5,000万円を取り崩している。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政調整基金とは何か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政調整基金は市の貯金のようなものである。災害があった場合など、急に支出が必要になった時のために少しずつ積み立てている。</li> <li>・平成21年度から29年度まで取り崩していなかったが、平成30年度以降は取り崩しを行っている。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借入金を減らして、調整金を減らすとはどういうことか。</li> </ul>

<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借入をすることによって金利もかかる。総合的な財政計画の中で、財政部局が基金の取り崩しが適当と判断した場合には取り崩しを行う。</li> <li>・2つ目の市税の徴収強化についてだが、確かに滞納処分をするまでに督促状送付での郵便料など事務経費がかかるが、行財政改革プログラム上での財政効果額を計算する際には、取組みを行うことによって増えた歳入の部分、削減できた歳出の部分に着目して算出している。</li> <li>・郵便料など税収強化に関係する支出は当然あるが、プログラム上における効果額はその部分の積み上げはしない仕組みになっている。</li> <li>・3つ目の臨時職員について説明する。市全体の臨時職員の人数は350人である。臨時職員が多い部署は、4月1日時点で教育委員会の学校教育課で97名であるが、これは、きらきらサポーター、さわやか相談員、学力向上支援教員として学校に配置して業務を行っているものである。</li> </ul>
<p>議長 宮田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に質問はあるか。</li> <li>・「特定目的基金の整理、統合」で、約3億3,500万円を歳入確保分として計上しているが、基金を移し替えただけであり効果があったと言えるのか。</li> <li>・歳出削減で「補助金等の見直し」として約4,497万円を計上している。以前にも質問したかと思うが、補助金が非常に多いので、他にも見直せるのではないか。補助金を削減するのは反対もあり大変だと思うが、見直さないと財政効果は上がらないと思う。</li> </ul>
<p>事務局  宮田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定目的基金の整理統合を歳入確保に計上した点についてだが、特定の目的のための基金は使い道が限定されており、活用の見込みがなければ死蔵したままとなる。この死蔵した基金を整理統合することで活用できる形にすることは、新たな財源を確保することにつながる。今回、整理統合した基金は、結果的にごみ処理施設整備基金に積んだが、有効に活用できる状態にするために取り組んだことから、歳入確保として計上した。</li> <li>・基金はたくさんあるのか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基金の数は20だったが、整理統合したことで13になった。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金額が一番多い基金は何か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政調整基金で約16億円である。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の基金からごみ処理施設整備基金へ積み立てているというのは、ごみ処理施設の建設を独自で進める等の目的があるから積み立てるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理施設の整備は単年度の支出では済まないため、必要な時に支出できるよう積み立てるという趣旨である。</li> <li>・宮田委員からもう一点、補助金が多いというご指摘があったが、年数をかけて段階的に見直しを行っている。</li> <li>・市でも昨年度から事務事業の見直し等を進めており、歳出を削減できる事業がないか検討している。コストを削減し、新たに生み出した財源は、新たな施策に役立てていきたいと考えている。</li> </ul>
宮田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある協議会に加入していたが、今年廃止となった。補助金が出ていても、実施しなくてもよい事業が継続していた。市の職員から事業の廃止を進めていくことはなかなか勇気がいると思うので、委員から発言していきたい。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に何かあるか。</li> </ul>
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民の安心・安全の確保」について、「地域防災計画の見直し」に関連して感じたことがある。昨年10月に発生した台風19号が関東地方を直撃したとき、行田市でも警戒レベル5が発令された。近所の方が、体の不自由な方を連れて中学校の避難所に避難したのだが、トイレが和式で車椅子対応になっていなかった。また、子どもが走り回って床が揺れて眠れないということで、夜中に自宅に戻ったという話を聞いて、避難所としての機能が果たされていないと感じた。</li> <li>・自分が住んでいる地域の近くにやすらぎの里があるが、体が不自由な方、乳幼児を抱えた方、介護が必要な方は、できれば優先的に福祉的な環境が整っている場所に避難させてほしいと感じた。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所のあり方については、所管課の防災安全課の方でも検討している。例えば、水害が発生すると体育館では浸水してしまうので、</li> </ul>

	<p>教室が使えないかも含めて検討している。</p>
梁瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の避難所のあり方について課題も出てきている。昨年の台風19号で、市も議会もいろいろと教訓を得たので、引き続き市民の安心安全のために頑張りたい。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よろしく願います。</li> </ul>
大野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所についてだが、近くの中学校がいっぱい入れないなどの問題は今後も起きると思う。民間のホテルや会社などと防災協定を結ぶことはありうるのか。</li> </ul>
梁瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市では地震だけでなく、水害も想定しなければいけない。台風19号が発生したときは、荒川と利根川が危険水域を超える状況だった。垂直避難という問題が今後出てくるが、行田市はあまり高い建物はないので、民間のビルなどを借りるなども考えていかなければいけないと思う。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歳入確保や歳出削減によって生み出されたお金は、真に必要な事業に活用してほしい。よろしく願いたい。</li> </ul>
政田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所のことで聞きたいが、新型コロナウイルスの関係で、収容人員が削減されるのではないかと思うがどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市として収容人数を制限するなどして、感染症対策を行いながら、避難所を運営していかないといけないと考えている。今後、どのように避難していただくのが良いのか市民にも周知していく。</li> </ul>
政田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・至急検討していただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承知した。</li> </ul>
羽賀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13頁の「少人数学級編成の見直し」で、学校に行くのが楽しい割合が高くなっているということであるが、いろいろ話を聞くと、ある学校では2クラスが1クラスになったことで、机と机の間が、横になっても通れないくらい狭くなっているようだ。新型コロナウイルス感染拡大の状況下で、教室に子どもを一堂に集めなければならない訳であり、子どもたちにも多少影響が出ているようである。もう一度、少人数学級編成の見直しについては進捗状況をA（実施済み）とするのではなく精査してもらいたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30人学級から35人学級になり、学力向上支援員の導入も始めた</li> </ul>

	<p>ところである。また、コロナ禍における学校の授業のあり方は、ガイドライン等を踏まえて行っているところではあるが、意見は教育委員会に伝える。</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施済みの項目になっているが、検討していただきたい。他にあるか。</li> </ul>
金子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「行政コストの削減」で、「公共施設への新電力の導入」があるが、庁舎のLED化は行っているか。</li> <li>・また、災害に関係することだが、今年の台風19号が発生したときに、自分は民生委員の活動をしているが、自治会長と相談し、消防団に地域を回ってもらった。意外と市の防災行政無線が聞こえないと分かった。これからは、自分で避難するのも大事だが、地域で連携して日頃から避難できるよう訓練していくことも必要ではないかと感じている。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LEDは、少なくとも本庁舎と教育委員会が入っている産業文化会館管理棟には導入していない。初期投資は高いが、確かに電気代の圧縮にもつながる。</li> <li>・防災訓練については、市は地区の自治連の協力を得ながら、一緒に行っている。避難時の情報伝達については今年の台風19号の件を踏まえ、課題だと認識している。</li> <li>・本日、行田市の公式ラインと防災情報メールの登録の案内を机上に配布したが、こうした媒体を使い、避難情報や災害情報等を的確に伝えたいと思っている。</li> </ul>
議 長 大野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に何かあるか。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の関係で、水道基本料金の無料化等を進めるようだが、財政状況は大丈夫なのか。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用する。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に意見等がないようであれば、議事の(2)「その他」について、事務局から何かあるか。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日報告した取組実績の主なものについて、「市報ぎょうだ」8月号にて市民へ周知するとともに、とりまとめた取組実績を、今後、市ホームページにて公表する予定である。</li> </ul>

議 長	<ul style="list-style-type: none"><li>・本日頂いた意見は今後の行財政改革の取組に反映していく。</li><li>・以上をもって、本日の議事を終了する。</li></ul>
司 会	<p><b>4 閉会</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・皆様からの意見をもとに今後の行財政改革に取り組んでまいりたい。</li><li>・以上をもって、令和2年度第1回行田市行政改革推進委員会を終了する。</li></ul>